

介護老人保健施設

大磯幸寿苑

〒 255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 2466 番地

Tel 0463-60-3525 Fax 0463-60-3526

ホームページ <http://koujukai.com/oiso/>

平成28年3月発行 VOL.1.創刊号

広報誌

ひゃくじゅ



広報誌「ひゃくじゅ」の由来

「ご利用者・職員ともに幸せでありたい」という、大磯幸寿苑の願いが込められています。

平成15年の文化祭で、職員と利用者による合作で、大きな〇の中に縁起の良い「寿」を多数散りばめました。

この「〇」には、皆さんの「輪」や、和やかな「和」と、〇に「円」と「苑」をかけてあります。真ん中の「百寿」を囲んで、多くのご利用者と職員が心を込めて「寿」を書いた力作で2階ホールの壁面に掲げております。

～～～ 経営理念 ～～～

「高齢者はすべて我々社会の功労者であり人生の大先輩である」との理念に基づき、幸寿苑は設立されました。

加齢による心身の衰えは何人も避けることのできないことであり、それ故に、一層の敬愛の情と細心の注意をもって高齢者に接しなければならないと、私どもは考えております。

少しでも内容豊かな生活をしていただき、一日でも早い家庭復帰と自立が実現できるよう最善の努力をして参ります。

医療法人社団 幸寿会
介護老人保健施設 大磯幸寿苑



雛祭り

雛祭りは、女子のすこやかな成長を祈る節句の年中行事で「男雛」と「女雛」を中心とする人形を飾り、桃の花を飾って、白酒や寿司など

の飲食を楽しむ節句祭り。雛あられや菱餅を供える。



平成28年より広報誌を発刊いたします、皆様のご愛読をお願い申し上げます。

Contents

☆表紙

広報誌「ひゃくじゅ」の由来、経営理念

☆広報誌「ひゃくじゅ」創刊に寄せて

☆大磯の歴史「湘南発祥の地」

☆第26回全国介護老人保健施設大会

《研究事業発表》

- ・演題：「どうしたら自ら外部研修に参加する職員が増えるのか？」
- ・演題：「私、楽しいの。嬉しい。」

☆ボランティア活動

☆消防訓練を実施しました

☆第26回屋内消火栓及び消火器取扱訓練の実施に参加しました

☆職員紹介

☆広報委員が決まりました

☆アクセス

広報誌「ひやくじゅ」創刊によせて

大磯幸寿苑は平成14年5月に創設して早13年を過ぎた、発足当時建物はできたばかりであり職員も全てが初顔である、何処から手をつけたらばよいか



皆が右往左往していたことが思い出される。創立10年目に10周年誌を出して皆が思いを述べたところであるが、今思うと順調に走り出していると思っている、ややマンネリになってきたような時期となってきた頃であるが、岡田君が就任し、これまで以上に幸寿苑の活性化を図ろうという事になり、その先駆けとして季刊ぐらいで所内情報誌でも作ってみてはという事になったのである。日頃スタッフは煩雑な介護や医療に追われている中であって、スタッフ同士の交流を図り、利用されている方々に対する介護の向上を目指すために、紙面を通じ各々が日頃思っていることを述べあって反省する等して、更なる前進の糧とする事ができれば幸いと考えている。

大磯幸寿苑 施設長 金子 靖

【大磯の歴史シリーズ】湘南発祥の地

大磯町本庁舎の東隣に佇む嶋立庵、右手のちよっぴり奥まったところに標石があります。



標石には、表に嶋立庵、裏に崇雪「著盡 湘南清絶地」と刻まれています。

「ああ、しょうなんせいぜつち」と読みます。
“清らかですがすがしく、このうえもない所

湘南は何と素晴らしい所“という意味です。

江戸時代初期の1664年、小田原の崇雪が、西行法師の詠んだ歌、《心なき身にも哀れは知られけり嶋立つ沢の秋の夕暮れ》に因み、昔の沢らしい面影を残す現在の嶋立庵の地を選んでこの地を「嶋立沢」と名づけ標石を建てました。では、標石の裏になぜ「著盡湘南清絶地」と刻んだのでしょうか。

崇雪にとって、大磯の「嶋立沢」付近のこの景色は、中国湘江の南方一帯の美しい景色が湘南に似て何と美しい場所であったことから、「著盡湘南清絶地」と刻んだといわれています。(大磯町 isotabi.com より転載)



嶋立庵

第26回全国介護老人保健施設大会

《当苑より2件の研究事業発表をしました》

演題

「どうしたら自ら外部研修に参加する職員が増えるのか？」

言語聴覚士 堀江正邦

～自己の興味や弱みの把握が参加意欲の向上に及ぼす影響～

9月2日から4日にかけて、パシフィコ横浜

で第26回全国老人保健施設大会が開催されました。本年度自分は研修企画委員会



の立場から「どうしたら自ら外部研修に参加する職員が増えるか？」というテーマで演題発表を行いました。内容は過去3年間研修企画委員会が取り組んできたことをまとめ、当苑の職員研修の課題を示しました。

当苑には研修企画委員会という委員会があり、職員の資質向上に向けた取り組みを継続的に行っています。今回、演題発表を行うにあたり、過去の取り組みを1つひとつ言葉にする機会を持つことになったので、取り組んできたことをじっくり検証することができました。



私たちの仕事は利用者様の人生が豊かになるよう支援していくことです。そのために専門的な知識やスキルの向上、人間としての資質の向上に向けて自己研鑽に励むことは義務だと思います。研修企画委員会では、これからも職員の資質向上に向けた取り組みを続け、利用者様に選ばれる施設であるよう努めたいと思います。

演題

「私、楽しいの。嬉しい。」

介護福祉士 岩澤芳美

～絵画療法を通じて BPSD へのアプローチ～

認知症症状が進行してきた利用者へのアプローチ方法として、幼少期よりライフワークとなっていた絵に注目し、絵画療法を実施。取り組みと経過・結果を報告しました。

A 氏と絵画療法を通じ積極的にコミュニケーションを図ることにより担当職員の顔を認識し「岩澤さんはどうした?」「今日はやらないの」等、自ら発言があり信頼関係が築けたと思いません。同じ時間に同じ場所で同じ職員が『楽しい』『嬉しい』と感じるものを本人に継続的に提供したことで多少短期記憶に繋がり、穏やかな時間が作れたことから攻撃的な発言や場面に適する行動が増えたことが、多少 BPSD の緩和に繋がったと考えられました。

A 氏と密に関わったことで職員自身も積極的に声掛けし、さらに観察するようになりました。結果を踏まえ、利用者様の事を理解しその人の生活歴に合わせたケアを施設生活に取り入れていくことが大切であると再認識させられ、「認知症が



すすんできたから」と決めつけず、あらゆる可能性を拾い出しその人の生きる喜びに繋げる支援をし、積極的な声掛けや観察していくことで、私自身「介護福祉士」としての役割を改めて考えさせられました。

ボランティア紹介

◎コーヒー喫茶

第1第3水曜日・・・河崎グループ様

第4水曜日・・・戸塚グループ様

◎フロアーコンサート・・・梶山様、ミュゼ様

◎骨太体操・・・第2水曜日・第4月曜日

おいそ骨太体操グループ様

◎傾聴第2第3木曜日・・・大磯町



◎音楽療法

第2木曜日

中里様

◎絵手紙 第3水曜日

えぼし会様

◎ハーモニカ

第3金曜日 植地様



◎ピアノ演奏会

第3土曜日・・・長岡様

◎書道 第4月曜・・・曾根田様

◎華道

第3火曜日・・・熊沢様

◎合唱 4月・大磯混声

合唱団様



◎歌・・・糸洲様

◎わらべ歌・・・木原様

ありがとうございました!



毎月ボランティア活動をいただき誠にありがとうございます。ご利用者やご家族の方からご好評をいただき、次はどんなボランティアがあるか心待ちにしております。今後もより一層のご協力をお願いします。

誠にありがとうございます。ご利用者やご家族の方からご好評をいただき、次はどんなボランティアがあるか心待ちにしております。今後もより一層のご協力をお願いします。

消防訓練を行いました 6月19日(木)

第一部：火災を想定した
初期消火と避難誘導 午後
2時に火災を想定し、火
元確認、初期消火、消防署
への通報、避難誘導と避難



者(入所者、デイ利用者、施設職員)の確認の
訓練。

第二部：消火器・散水栓を使った消火訓練、屋
内散水栓を使用した消火訓練と消火器を使用
した消火訓練等、一部二部とも大磯町消防署
や防災業者の立会い指導のもと約1時間訓練
を実施

しまし
た。



第26回屋内消火栓及び消火器取扱訓練の実 施に参加しました

日 時：平成27年11月9日 9:30~11:00

場 所：大磯ロングビーチ第3駐車場

参加者：杉林 徹、土井 篤、足立直幸

石川美沙希、岡田泰俊(広報)



当日参加された
高齢者福祉施設の
団体職員が小グル
ープに分かれ、屋
内消火栓や消火器
の構造や取り扱い
方法を学び、正し

く理解し操作方法を身につけることにより、有事
の際に迅速かつ的確に初期消火が行われることを
目的とした実施訓練が行われました。

また地震を疑
似体験できる振
動装置を搭載し
た自動車による
大規模地震の揺
れを体験しまし
た。



職員紹介

事務長 内田 努

今年の6月より事務長をさせて頂いております
内田と申します。大磯幸寿苑とは縁があり、
13年前にオープンした際に介護統括主任を5
年務めさせて頂いておりました。

この度再度ご縁をいただき、事務長という立
場にてまたお世話になることとなり、当時一緒
に働いた若いスタッフが現在主任として活躍し
ている姿などに鼓舞されています。

近年介護を取り巻く環境が大きく変化してお
りますが、老健としての役割を果たすと共に、
ご利用者様・ご家族の視点を大切にしていきたい
と考えております。

私自身もまだ若輩者ですが、皆さんの協力の
もと、明るく居心地のよい施設を目指し、より
よくしていく為に努力してまいりますので、ど
うぞよろしくお願い致します。

広報委員が決まりました

10月8日第1回広報委員会を開催し、1. 広報
委員長の選任、2. 広報誌発刊について、3. 広
報誌の内容について、4. 今後の広報活動につい
て等、協議しました。

広報委員長 大沢いちこ

広報委員：佐藤 亮、外山智之、金子 靖、
岡田泰俊

アクセス



介護老人保健施設 大磯幸寿会

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 2466 番地

TEL 0463-60-3525 FAX 0463-60-3526

ホームページ <http://www.koujukai.com/oiso/>